

苦小牧市パートナーシップ制度（案）に寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

意見提出期間 令和4年9月28日 ～ 令和4年10月28日（31日間）

意見提出人数 3人

提出意見件数 3件

※ 公表を望まない方、記載必須事項を満たしていない方からの御意見（総数18件）につきましては、パブリックコメントの要件を満たしていないため、対象外とし、非公開とします。

提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由 次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	1	(原文・ <u>整理要約</u> 有・ <u>無</u>) 制度を導入し、より誰もが暮らしやすい苦小牧になることに期待します。 導入して終わりではなく、要綱第14条にあるように周知啓発の取組も欠かせない。まずは、多様な性の在り方についても市民、そして市職員に対してもより一層知る機会、理解を深める機会を設けると良いのではないかと。	現在、市として市民向け講座や職員研修に取り組んでいます。制度導入後も引き続き周知啓発に取り組む必要があると考えています。	C
2	2	(原文・ <u>整理要約</u> 有・ <u>無</u>) 是非やって欲しい。 第一号になりたい。	御意見については今後の制度実施にあたり、参考とさせていただきます。	E
3	3	(原文・ <u>整理要約</u> 有・ <u>無</u>)		

	<p>パートナーシップ制度の導入案について 遂に苫小牧市でも この制度が議論される日が来たかと まずは思った。 同性婚が認められない故に拒否されることが当たり前で 悔しい気持ちの日々でした。 ただ、パートナーシップ制度が導入されれば 婚姻効力ま ではなくともパートナーとそれに近い暮らしができる 喜びがある。保険金受取人にもなれる可能性がある、病 院でも家族みたいな対応してもらえる、家族割が使える かもしれないなど今まで出来なかったことが認められる というのは本当に嬉しいですし、苫小牧市が LGBT と向 き合ってくださいている事、有難いの一言に尽きる。 LGBT も 1 人の人間ですし、異性カップル同様愛する人 と共に歩みたい、その気持ちが 1 番。 できれば渋谷型の条例という形になってくれたらいいな と思う。 期待と希望を込め導入に向けよろしく申し上げます。</p>	<p>本制度は苫小牧市男女平等参画推進条例の理念に基づき、要綱形 式での導入といたしました。より多くの方が利用しやすい制度と なるよう御意見については、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>	<p>C</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

「原文」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見そのものであり、整理、要約、削除等をしていないものをいいます。担当課において、原文の備付けや閲覧による対応が必要となります。「整理要約」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見を整理、要約、削除等をしたものをいいます。

なお、「原文」・「整理要約」のいずれの場合であっても、第三者の利益を害するおそれがあるとき（個人のプライバシーに係る事項、企業秘密等）や、その他正当な理由があるとき（提出意見を公にすることにより公益上の支障があるとき等）は、その部分について除くことができます。